

被災地における 「ふるさと」をキーワードにした井土地区の取り組み —令和3・4年度仙台市地域づくりパートナープロジェクト活動報告—



井土町内会
井土実行組合

【1】若林区井土地区について

《東日本大震災前後の世帯数と人口の変化》



102
世帯

374
名

11
世帯

21
名

- 世帯数の激減により、一度は町内会の解散を決意したものの、現地再建を果たした世帯もあり、**2017年に町内会活動を再開**。
- 2021年7月には「**井土まちづくり推進委員会**」が設立。
- 2021年度「仙台市地域づくりパートナープロジェクト」に採択。

▶▶▶ 大震災から10年を経て、「**今一度、井土のまちづくりを積極的に考えていこう**」という機運が高まっている

【2】R3年度／地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証事業

〈全体の目標〉

居住者が激減した若林区井土地区において

「ふるさとに関わり続ける」ための仕組みをつくる

▼
▼ R3年度は以下の3点を検討することを目的とする
▼

①段階的な「ふるさと」への関わり方の模索

旧住民に対して大震災後の井土地区における関わり方の意向調査を実施し、大震災を経て住民が「ふるさと」に対してどのような思いを抱いているのかを検証する。また、結果を踏まえながら、段階的な「ふるさと」への関わり方を模索する。

②地域資源を軸にした住民主体の活動

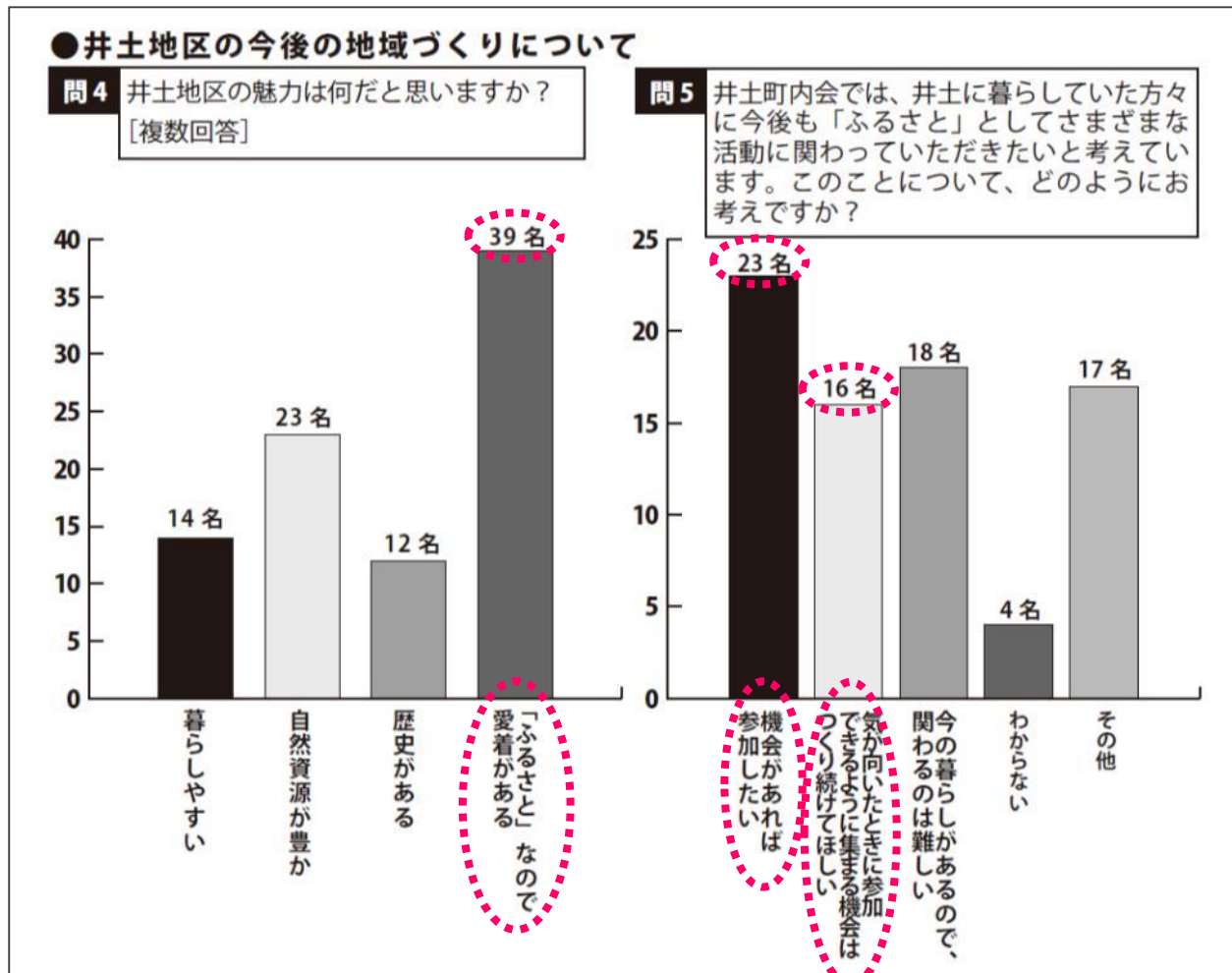
海辺の生態系のフィールドワークを実施している専門家とともに、住民参加型のフィールドワーク手法について試行することで、「ふるさと」への関わり方の一つとして、地域資源を軸にした活動を検討する。

③住民主導による地域資源の発信の仕組みづくり

住民が主体的に井土の地域資源を価値化しながら発信していけるよう、その仕組みづくりと手法について検討する。

【2】R3年度／地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証事業

①段階的な「ふるさと」への関わり方の模索



半数が「井土地区はふるさととしての愛着がある」と回答しており、被災により転居した現在においてもイベント等をとおした「住民同士が集まる場」を望んでいることがわかった。

【2】R3年度／地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証事業

①段階的な「ふるさと」への関わり方の模索

アンケートでは、今後の地域づくりに対する前向きな意見も多く、「さまざまな世代が参加しながら話し合える状況をつくる必要がある」「継続的な取り組みにしてほしい」という声が届いた。



集まって
話し合う機会も
増えました！

【2】R3年度／地域資源の利活用を軸にした「ふるさと」への関わり方の検証事業

②地域資源を軸にした住民主体の活動

- 専門家を招いたフィールドワーク（11月）
- 自然環境学習会（2月）



井土地区で当たり前に行われていた自然資源の活用方法が、現在の市民にとっては井土を知るきっかけになるのではないかというアドバイスをいただいた。参加した住民からは、「同じ地区の若い世代にも生活史を知ってもらう機会になるかもしれない」という声が聞かれた。



大震災後に残ったクロマツに交じって常緑広葉樹木が確認されるという珍しい状況や、井土浦には複数の絶滅危惧種がいること等が報告され、参加した住民たちからは驚きの声が上がった。そして、たくさんの思い出話とともに「地域づくりにぜひ活かしていきたい」という声が聞かれた。

③住民主導による地域資源の発信の仕組みづくり



● 『9840842／井土まちづくりレポート』の発行

→郵送による全世帯への配布

●インターネットによる情報発信

→note

→SNS (Twitter、Facebook)

「発信できること」が具体的にできたことで、2022年3月に「井土地区見学会」を開催し、若林区役所職員や仙台市議、宮城県議等をお招きすることができました。



【3】R4年度／ふるさとを整えるー地域資源活用を軸にした地域の継承ー

居住者が激減した若林区井土地区において

「ふるさとに関わり続ける」 ための仕組みをつくる



住民自身が主体性を持って
井土を『ふるさと』として継承していくための
仕組みをつくる

上記目標の達成に向かって、以下の取り組みを実施する。

(ア) 多世代が集まれる場づくり

(イ) 固有の資源を内外に発信するための魅力づくり

(ウ) ふるさとに通うきっかけづくり

以上の三点について地域資源を活用しながら場面を創出して
いくことを今年度の取り組みとして検討する。

【3】R4年度／ふるさとを整えるー地域資源活用を軸にした地域の継承ー

（イ）固有の資源を内外に発信するための魅力づくり

▶▶▶ 自然環境学習会〈屋外編〉の開催



9月に開催した「井土の湿地帯にヨシとカニを見に行こう！」は、参加者が50名を超え、大盛況でした！

【3】R4年度／ふるさとを整えるー地域資源活用を軸にした地域の継承ー

(ウ) ふるさとに通うきっかけづくり

▶▶▶ 月命日に開催「井土クリーン作戦」



平日でも参加者は30名を超え、地区外からも駆けつけてくださる方も多い状況！
(=井土地区に月に一度通うきっかけになっている)

【3】R4年度／ふるさとを整えるー地域資源活用を軸にした地域の継承ー

(ア) 多世代が集まれる場づくり

▶▶▶ 11月19日（土）に開催「井土プチマルシェ」



この開催をきっかけに、多世代の住民からの井土への関心を高めていきたい!